

# 鹿児島工業高等専門学校様 企業概要説明資料

霧島木質発電株式会社  
霧島木質燃料株式会社

**■会社設立 :霧島木質発電株式会社**

設立 :平成25年 5月 資本金: 現在 3億円

**霧島木質燃料株式会社**

設立 :平成25年 10月 資本金: 現在 1千万円

**■運営について (現在の従業員 :合計 44名)****・チップ製造施設、発電施設の人員、勤務時間****【製造部】**

⇒ 燃料 :20名 (原木の受入れ、横持運搬、チップ製造、バーク処理)  
勤務時間 (8:30~17:00)

⇒ 発電 :18名 (チップ供給、発電全般保全・管理) 6名は昼間勤務  
勤務時間 3名1班で、4班あり 12時間(休憩:2時間含む)  
8:00~20:00~8:00 2交代制  
1日 24時間稼働、年間稼働日数は、330日

※年間の35日~36日を定期点検、法定点検に充当する。  
他の組織として、林材企画(営業)、総務があります。

# 霧島木質発電 (株) 組織 Map

代表取締役



西 勇一



上田



中村

発電所 所長

取締役 総務部長

運転課

設備課

調達  
グループ長



楠元



長命

BT主任技術者

電気主任技術者

運転  
グループ長

設備  
グループ長

総務  
グループ長



山崎



中村  
(晶)

持留



櫻木



益山

連操 1 班

連操 2 班

連操 3 班

連操 4 班

リーダー  
竹下



リーダー  
(兼務)  
山崎



リーダー  
江藤

リーダー  
水沼

野村

西芦谷

西村

石本  
(毅)

武田

茶円

黒羽子

津曲  
(克)

深水

津曲  
(め)

日本の森林を美しく



# 霧島木質燃料 (株) 組織 Map



## ■発電について

・発電能力

⇒ 5,750kw

約 1万世帯 分

## 【参考】

霧島市人口

令和 2年 12月1日現在

男性 60,267人

女性 64,632人

合計 124,899人

世帯数 61,540世帯

## ■売電について

・売電先 : 新電力 ( PPS: 特定規模電気事業者 )

再生可能エネルギー固定価格買取制度 ( FIT制度 ) 2012年7月よりスタート

## 2020年度木質バイオマス発電の調達価格・調達期間

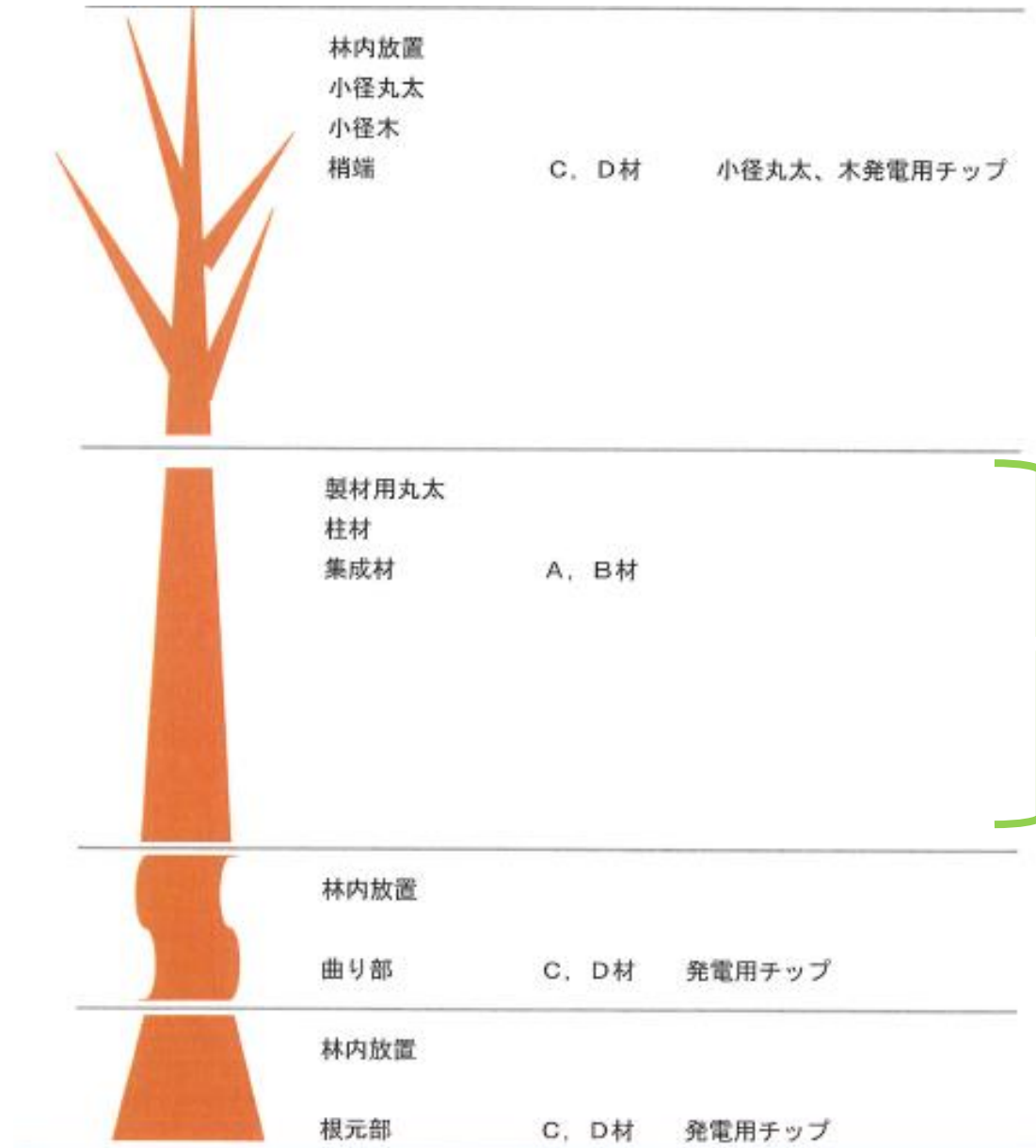
区分	未利用材 (2,000kw未満)	未利用材 (2,000kw以上)	一般材 (10,000kw未満)	一般廃棄物	リサイクル木材
2019年度の調達価格	40円	32円	24円	17円	13円
調達期間	20年				

日本木質バイオマスエネルギー協会資料情報より

## ■燃料について

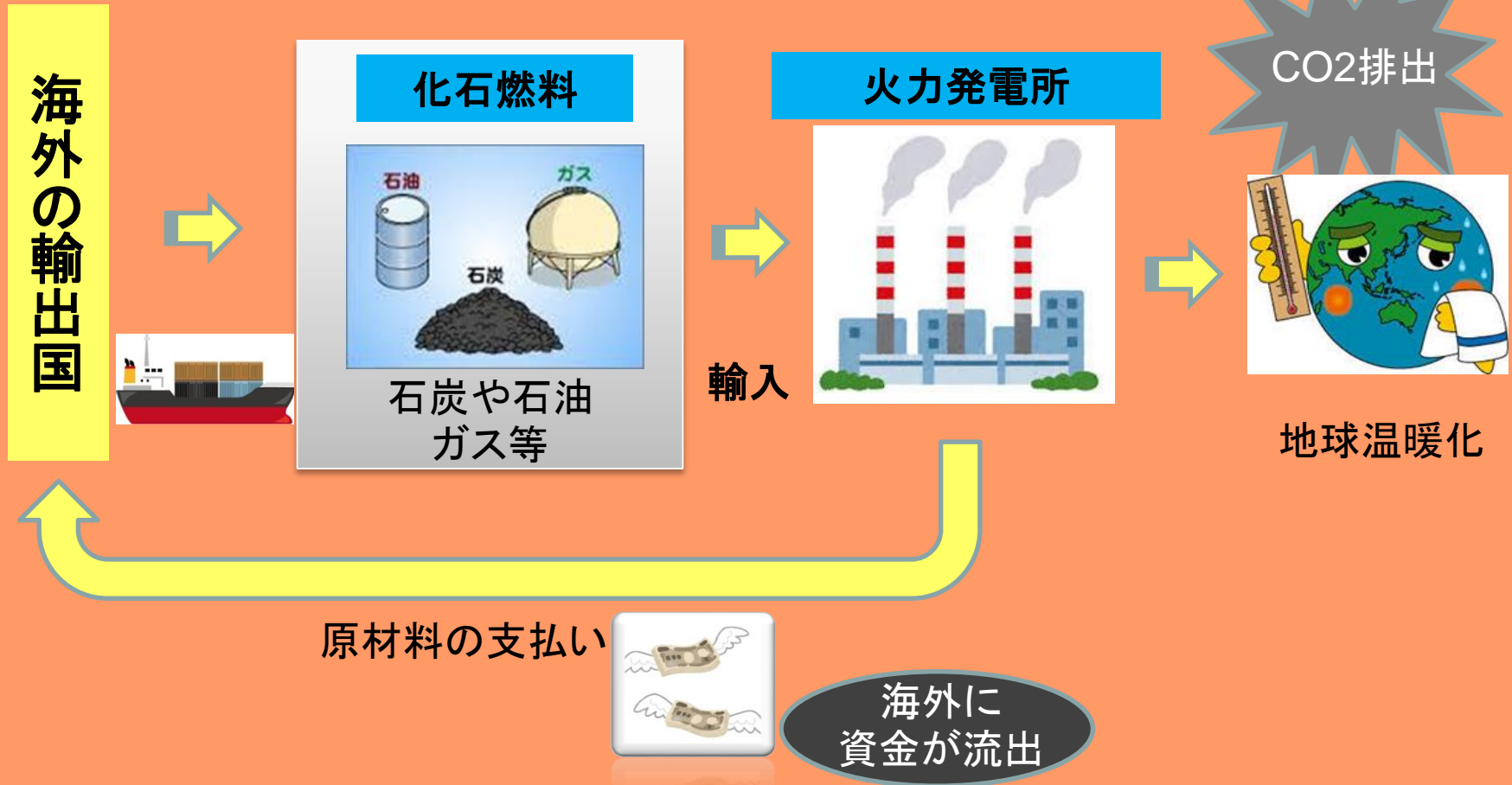
- ・調達先 ⇒林野庁のガイドラインに沿った霧島木質バイオマス燃料協議会  
会員から購入してます。(現在 67社が会員)  
各事業者は、全てバイオマス事業者認定を取得。  
※認定機関:鹿児島県森林組合連合会  
:鹿児島県素材生産事業連絡協議会  
:一般社団法人 鹿児島県林材協会連合会
- ・調達の範囲は :地元霧島を中心とした鹿児島県内です。
- ・未利用材、一般材との比率は？  
⇒未利用材 約95% 、一般材 約5%(昨年実績)
- ・チップ使用量は？  
⇒1日約150～180トン消費します。
- ・原木の調達、貯木量は？  
⇒バイオマス協議会会員様から、毎日搬入されています。  
貯木量は、年間 約 60,000 トンを目標としております。

## ■ 樹木の仕分け



※例外  
製材不向き材  
: 曲がり、割れなどの  
丸太及び小径間伐材

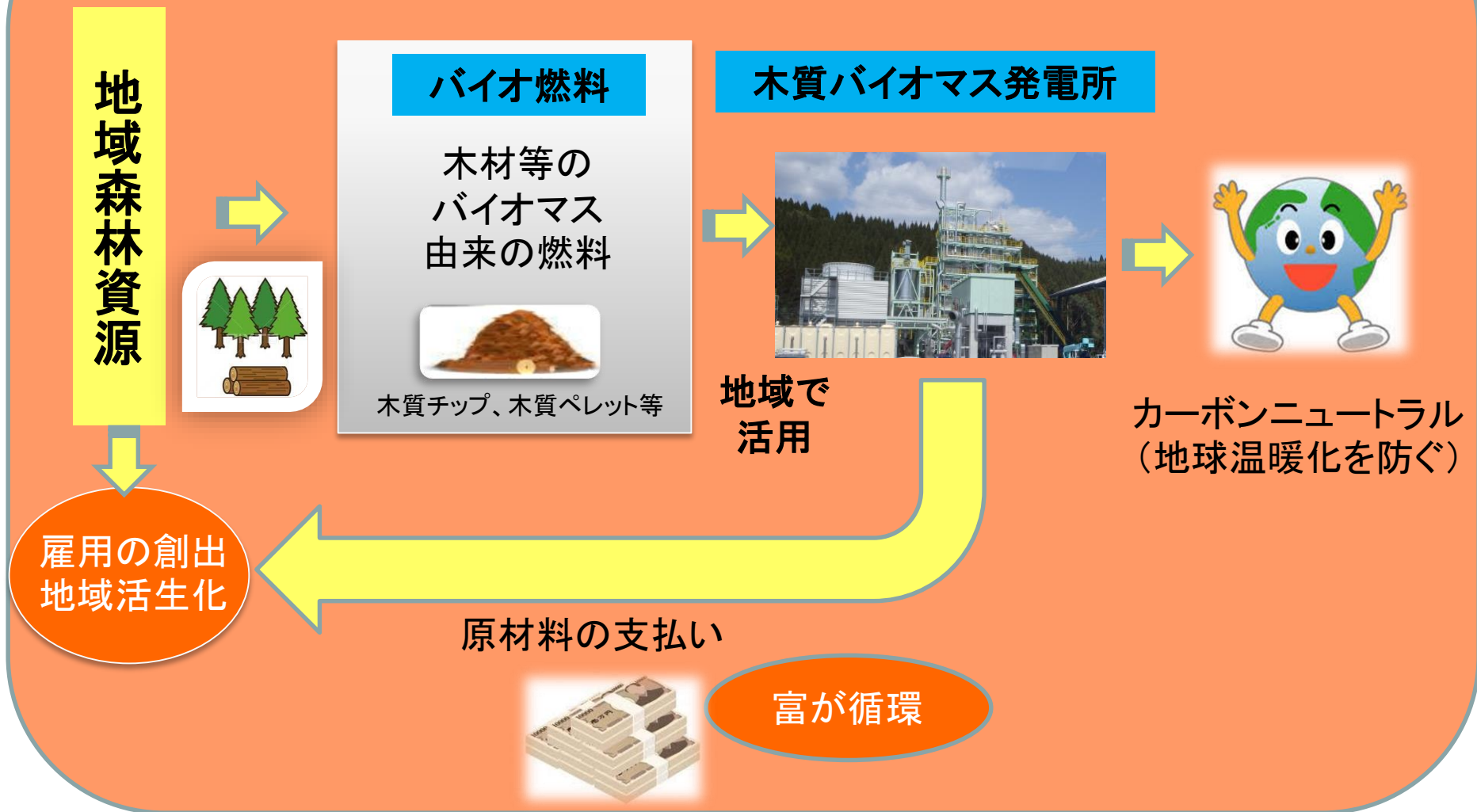
# 化石エネルギーの場合





林業の活性化及び地域の経済・雇用には効果がある

# 再生可能エネルギー(木質バイオマス)の場合



■木質バイオマスの九州の現状

今年、大型6施設が動き出す

既存で70万tチップ必要に

九州の木質バイオマス発電

九州は、日本有数の豊富な森林資源を持つ地域だ。大型の木質バイオマス発電施設ですでに動き始めた施設は、大分、熊本、鹿児島、福岡と順に、6施設が今年に入り稼働を開始した。今年度、70万tチップの生産・利用量の確保はこれから行われる。木質チップの需要はバイオマスを確保するために、今年稼働した6施設を中心に確保を始めてきた。

宮崎県に2.5万kW、年20万t

王子クリールリーは、金沢県八幡平市に、宮崎県日南市に2.5万kW、年20万tのバイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。一施設は土佐市分相、二施設は宮崎県日南市に建設される。両施設は、バイオマスチップを原料とする。バイオマスチップは、今年4月に稼働した王子クリールリーのバイオマスチップを原料とする。バイオマスチップは、今年4月に稼働した王子クリールリーのバイオマスチップを原料とする。バイオマスチップは、今年4月に稼働した王子クリールリーのバイオマスチップを原料とする。

鹿児島県で5750kW規模

霧島木質発電(鹿児島)は、鹿児島県で5750kW規模のバイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。霧島木質発電(鹿児島)は、鹿児島県で5750kW規模のバイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。霧島木質発電(鹿児島)は、鹿児島県で5750kW規模のバイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。

1.8万kWで年20万t投入

中田木質バイオマス発電(宮崎)は、宮崎県に1.8万kWで年20万t投入のバイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。中田木質バイオマス発電(宮崎)は、宮崎県に1.8万kWで年20万t投入のバイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。

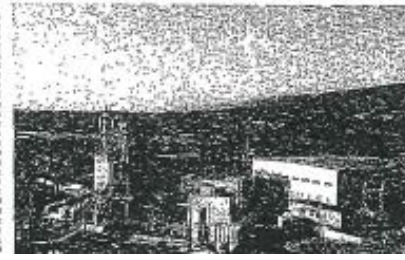
宮崎県に4カ所設置



バイオマス発電施設の様子

出力5750kW発電所稼働

グリーンバイオマス事業で、全国で初めて、バイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。グリーンバイオマス事業で、全国で初めて、バイオマス発電施設を、今年度の稼働施設として稼働させる。



バイオマス発電施設の様子

5750kW発電所、年7.2万t

バイオマス発電施設は、今年度の稼働施設として稼働させる。バイオマス発電施設は、今年度の稼働施設として稼働させる。

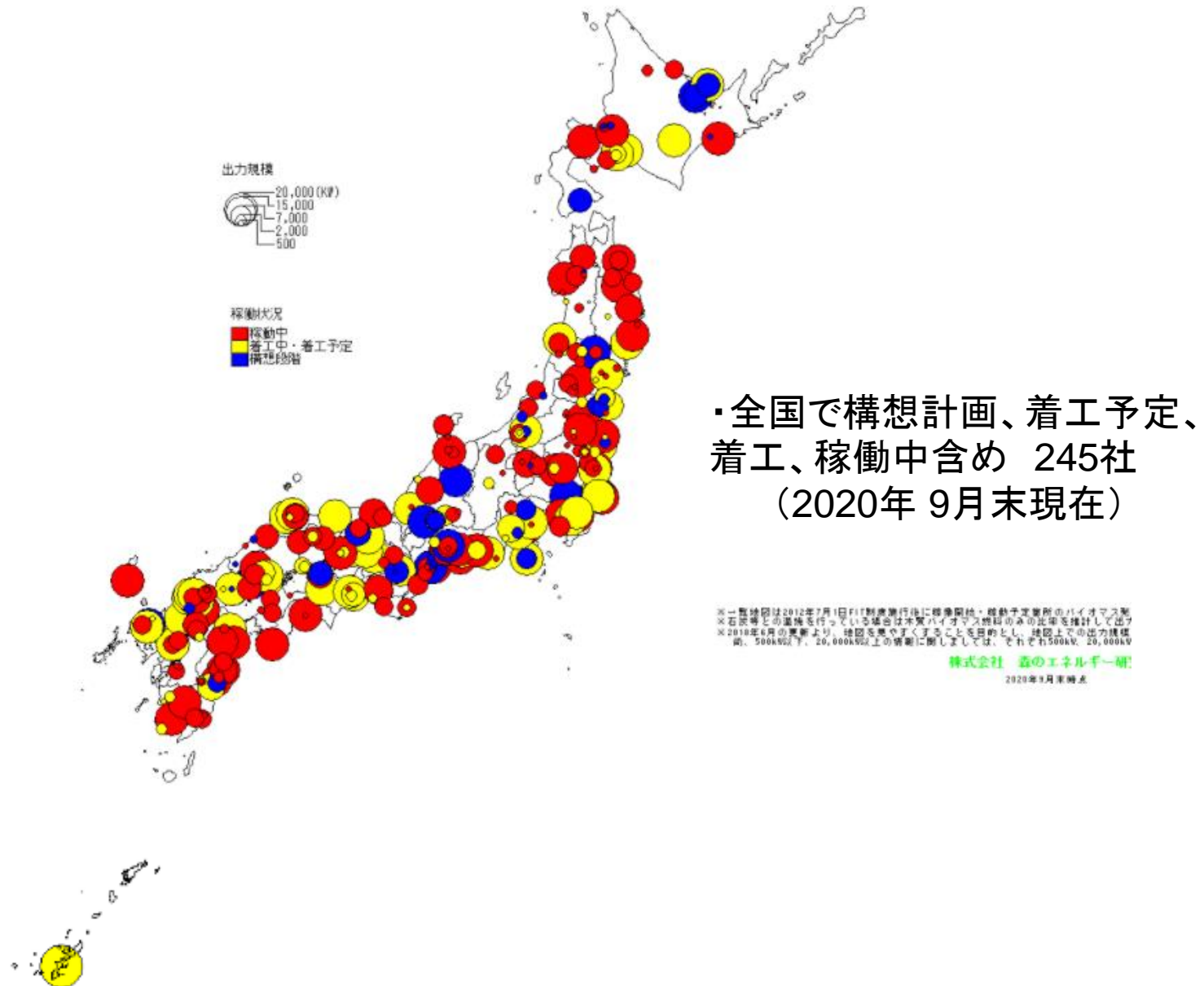
稼働から約2年が経過

投入額のチップ量は、稼働から約2年が経過している。投入額のチップ量は、稼働から約2年が経過している。投入額のチップ量は、稼働から約2年が経過している。



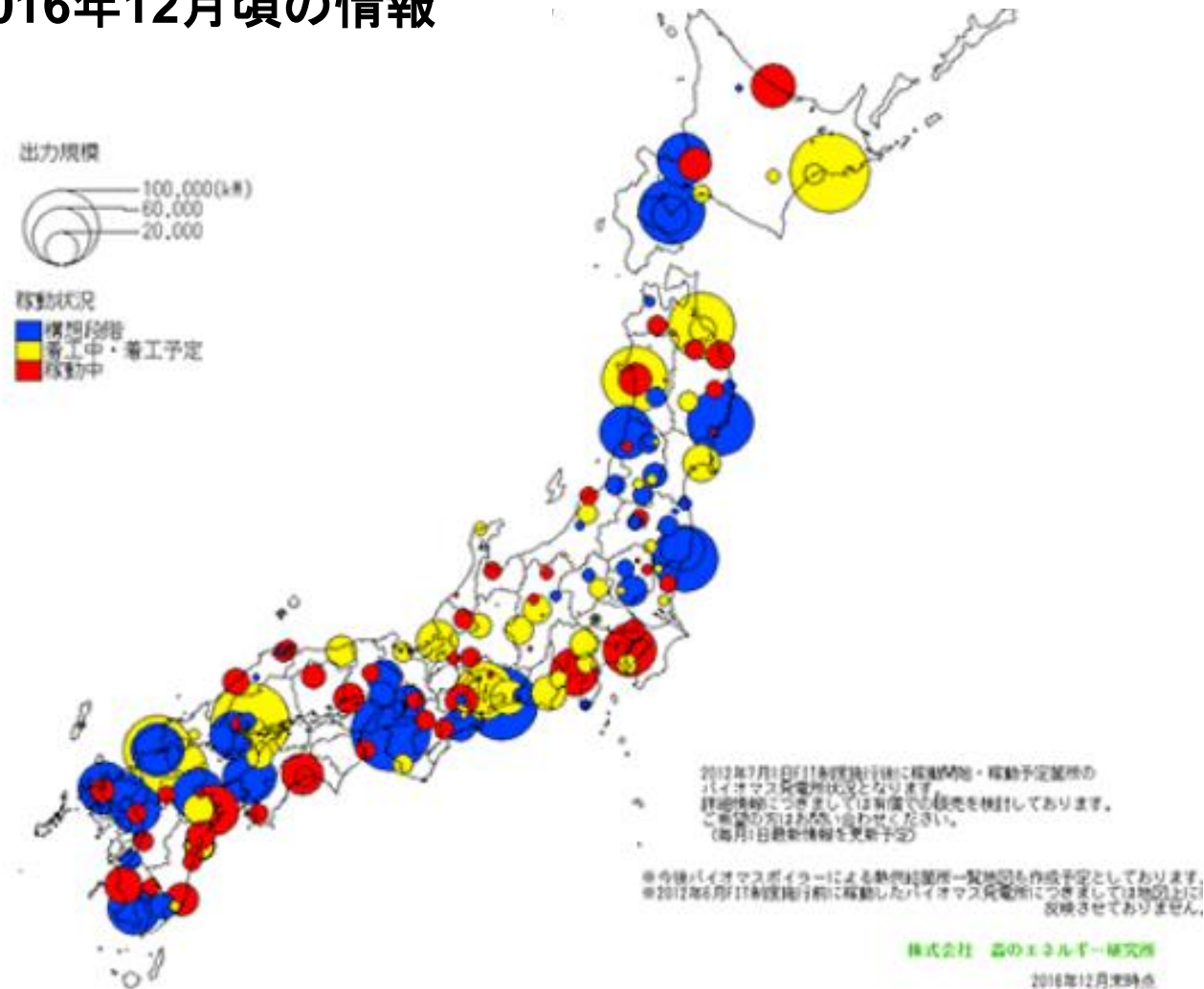


## ■全国木質バイオマス発電所一覽地図





## 【参考】 2016年12月頃の情報



# ■霧島木質発電(株)及び霧島木質燃料(株)への見学人数 平成27年3月末～令和2年12月末までに、3047名が訪れる



写真は、平成27年12月2日に中国から23名の方々が見学に来られました。

南日本新聞より(平成28年 1月5日 記事)

霧島木質発電株式会社ならびに霧島木質燃料株式会社は  
“日本の森林を美しく”をスローガンに安心・安全を常に心がけ、  
明るく・楽しく・元気に業務を行うと共に、色々な方々に感謝し  
これからも歩み続けます。

# Appendix